

令和2年度 第1回理事会 議事録

令和2年5月9日(土)～10日(日)

オンラインビデオ会議

○司会進行 塚崎 邦嗣

○部長挨拶 徳廣 剛

自転車競技に大変お世話になっている本校(北桑田高校)の田中先生から相談を受け、微力ながら貢献させていただきたく思います。これまで陸上競技、駅伝の運営に携わっておりました。河田総務部会長が携わっておりますワールドマスターズの近畿誘致、運営にも携わりまして自転車競技へのご縁があると感じております。これまでの高体連の運営の経験を自転車競技でも活かせればと思います。生徒の活躍できる環境を皆様と一緒に作り上げていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

○出席確認

出席：徳廣 部長、早川 副部長、中梶 理事長、中田 副理事長、河田 常任理事、高畑 常任理事、田中 常任理事、小柳 常任理事、月成 常任理事、大野 常任理事、平葎 理事、堤谷 理事、塚崎 理事、守屋 理事、前川 理事 (阿部 事務局長)
理事全員出席

○規約により部長が次第に従い司会進行

1. 審議事項

(1) 令和2年度全国高等学校体育連盟自転車競技専門部役員について

部長を理事会として徳廣剛(京都府立北桑田高等学校長)氏に委嘱する。

理事を令和3年度開催地担当理事として前川亮二(福井県立坂井高等学校より県保健体育課へ出向)氏へ委嘱する。

監事を委員長の交代などがあり、中村圭吾(茨城県委員長)氏、竹内佑太(静岡県委員長)氏へ依頼してはどうか。今後調整にあたる。

→ 以上、承認

(2) 令和2年度全国高等学校体育連盟自転車競技専門部登録・徴収金について

昨年度末から今年度の状況を鑑み、理事長、総務部会長と事務局で相談し3年生について選手1人当たり1,000円の徴収金を本年度に限り徴収しないとした。理事会を通さず申し訳ありませんでした。(事務局)

意見：

3年生しかない学校については、学校1校当たりの19000円も免除していいのではないか。登録をしない選択もあるが、来年度の総体ブロック枠に影響が出る。

→登録期間を延長している。成果発揮ができる大会を実施するとなった場合、そのタイミングで改めて登録してもらうなど各校に判断をしてもらってはいかがか。

→枠に影響があるのであればなおさら負担金(徴収金)を負担いただかなければならないのではないだろうか。

→登録に関してはJCFへのチーム登録、ジャージ登録の関係もある。NF大会へ都道府県ジャージではなく所属チームのジャージで走れるという視点もある。

→以上、原案(3年生選手の負担金(徴収金))を免除で承認

(3) 令和2年度全国高等学校体育連盟自転車競技専門部予算・事業計画について

「決算報告」

中間決済よりJKA払下げホイール運送などの費用が追加。ブロック合宿・全国合宿、選抜のJKA公益補助事業の清算が年度内で終わっておらず、本来はこの金額より令和2年度への繰越金が増えます。黒字で事業が行えている。総枠として予算内で収まっている。

「予算案」

3年生の負担金(徴収金)が減る。また、1年生の勧誘等が不透明で登録人数は減ることを考慮して予算組。本年度もJKA公益補助事業として事業を行えることになった。従来に加えて日韓高校対抗も補助対象となった。事業が増えているが補助金額が前年度より500万程度減少しているが、分散開催の総体で予算圧縮のために簡素化することを想定していた予算圧縮、前年度の沖縄と比較して本州開催での旅費減少などがあり、要望総体補助金額が大きく減っているためである。

このところの情勢で収入減がみこまれますので予算圧縮、ならびに、全国総体、全国選抜の自己資金開催を目標とした繰越しをしていく事を目的とした予算圧縮をしている。

旅費が変化ないように見えるが、日当を項目替えしているので実質25万円程度圧縮。

特別賛助金のご協力を得ているが、学校負担金(徴収金)19000円などの収入を基本とし、支出を抑え、自己資金増強を目指していく事を継続する。

→以上、承認

「事業報告」

前回の委員長会議の報告に加えて、選抜中止

「事業計画」

ブロック大会中止、全国総体中止、ブロック合宿についても見直しが必要となるためすべて未定と一旦処理。夏の委員長会議についても全国総体中止のため実施時期を検討する。成果発揮機会、日韓戦、合宿について、後の議題とする。

意見：

ギリギリまで判断をまち、なんとか成果発揮の機会を設定できないものか。

→方法を模索する。

→以上、承認

(4) 令和2年度全国高等学校総合体育大会自転車競技中止に伴う対応について

8月中の全国規模の成果発揮機会の設定は難しい。その後の期間も感染リスクを減らすことを念入りにしても受け入れ自治体があるかどうか。他の専門部ではボート専門部は冬季に代替えを模索している。全日本選手権、国体、都道府県などの競技日程も関係してくる。他の専門部で例年行われている3年生が参加している冬季の大会もあるが、自転車競技についてはこれまでにそういった大会は存在していない。成果発揮の機会を模索するうえで、参加については個々の判断だが3年生が目標設定しやすくする必要がある。しかしながら、今現在見通しをつけることは困難である。さらに、仮に成果発揮の機会を設定するにしても準備の期間が必要となる。これらの問題の検討期限としては6月がギリギリではないであろうか。

通信大会、一堂に会し、オンラインなど様々な方法を模索したが、6月に第2回理事会をおこない、そこで成果発揮の機会について再度検討する。

→以上、承認

(5) 令和2年度全国高等学校選抜自転車競技大会について

この情勢で関係各所に多大な負担がかかっている状況。関係各所の負担にならないよう状況を見て進めていく。

→以上、承認

(6) 第3回日韓高校対抗自転車競技大会について

韓国としては参加について現状では問題なく参加できると返答あり。ただ、開催するにあたり日韓両国の状況・情勢によるところ。成果発表の機会ともなる。全国総体同様に6月に再度検討。

→以上、承認

(7) 令和2年度ブロック合宿・全国合宿について

各ブロックの判断になると思うが、成果発揮機会など決まらなると設定しにくいと考える。同様に6月にブロックへ再度検討してもらえる内容を発信できるように検討する。

→以上、承認

(8) 各専門部会より (総務・競技運営・強化育成・広報)

「総務」

ブロック合宿のJKA公益補助事業について清算中であるが、今回のJKAでの処理を踏まえて各ブロックで統一されたフォーマットを検討していく必要がある。

「競技運営」

PowerMax、Wattbike、Zwiftなどを利用して非公認ながらランキングなど音頭を取って動きを起こせないか検討。

「強化・育成」

様々な大会や合宿を行うにあたって選手選考が現状では難しい。

「広報」

HPの管理について。膨大なこれまでのデータを引き継げる仕様を選定し業者選定を行う。

→以上、継続検討

(7) その他

「全国総体出場者資格者公認などできないか」

臨時理事会でおこなった検討は、全国総体を実施するがブロック予選などができないことで想定して割り振りなどを考えた。全国総体が中止になったが、中止決定以前に各ブロックでブロック大会ができない場合の総体出場者をすでに決めているブロックがどれぐらいあるのか。

近畿はブロック大会ができない場合の選手選出が既にできているが、他ブロックはブロック選出者を決定していない。中止になり今後も選定することはないと思われる。

「統一ランキング」

この状態で大会をしても昨年度以上の成績を残せる選手は皆無ではないか。前年度の全国総体やJOC、世界選手権、ブロック大会、都道府県大会などをランク付けしてポイントに重みをつけながら、各種目にポイント付けしてランキングを作ってはどうか。

「大学セレクション」

進学にあたり各大学でセレクションをするとなると煩雑になり負担がかかる。統一のセレクションを実施してもらえないか専門部から依頼できないか、環境設定できないか。

→以上、継続検討

「優勝旗などの保管」

前年度の総体、選抜優勝校に優勝旗などの保管をお願いする必要がある。理事長より当該校へお願いをする。

→以上、承認